

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク大和保育園
経営主体(法人等)	(株) 日本保育サービス
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒242-0021 神奈川県大和市中央1-4-19 2階
設立年月日	昭和48年8月1日
評価実施期間	平成25年12月～平成26年4月
公表年月	平成26年5月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市評価基準
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
【施設の特色】 【立地】 平成22年10月に開園し、0～2歳児を対象とした定員60名の認可保育園で産休明け保育、障がい児保育、一時保育、延長保育を行っています。 相鉄線、小田急線の大和駅から徒歩約5分、2階建商業ビル2階を保育園として使用しています。園庭はありませんが、近隣にやまと公園や中央一号公園など多くの公園があり、日常的に散歩に出かけています 【特徴】 学ぶ楽しさを育むプログラムとして専任講師による英語、リトミック、体操プログラムを行っています。 【特に優れていると思われる点】 1、戸外活動の充実 園庭がないため、職員は意識してお天気の良い日は毎日 戸外活動を行っています。発達過程に応じてコースを選び、少人数で散歩に出かけ、自然に触れ合う機会、交通ルール、社会性を学ぶ機会としています。保護者アンケートでも「園外遊びを十分にしているか」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」について保護者から高い評価を得ています。 2、食育年間計画をたて食への関心を高める 「身近な食材に触れ作る楽しさや共に食べる楽しさを味わう」のねらいをもって食育年間計画を立て、ピーマンやスプラウト、かぶなどを栽培し給食で食べたり、月1回「お楽しみランチ」として季節感を取り入れた行事食を提供しています。2歳児では月1回、味噌づくりや手作りうどんホットケーキ作りなどのクッキング保育を行い、子どもたちは食への関心を高めています。 【特に改善や工夫を期待したい点】 1、 わくわく広場を実施し地域との交流を 地域交流を課題と考え、中長期計画に「地域との交流を図る」を挙げています。やまと公園に出向いて、遊びに来ている親子に、年3回「ぽかぽか広場」を開催し、パネルシアター、絵本の読み聞かせ、シャボン玉遊びなどを行い、地域と交流を行っています。 年4回、土曜日に5組の地域の親子を園の行事に招待する「わくわく広場」を計画しています	

が、参加者が集まらず実施に至っていません。2歳児までの保育園であることもあり、保育園としてはあえて計画的に他の団体と交流を行っていません。保育園を理解してもらうためにも、地域のニーズを把握し、PRの仕方を工夫して「わくわく広場」を実施し、地域との交流、連携を促進することを望みます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重

- ・職員は子どもと話をするときは、目線を合わせ、わかりやすい言葉で穏やかに話をするようにし、注意する場面では、子どもの年齢や発達にあった言葉を使い、自尊心を傷つけないように配慮して、子どもの気持ちを受け止めて対応しています。園長は『こどもの声を聞く』保育を職員に指導し、子どもの要求や訴えに耳を傾け、気持ちを汲み取る保育を行っていくように促しています。
- ・個人情報の取扱いや守秘義務の意義について職員は入職時に研修を受けて周知し、非常勤職員も含め全職員が誓約書を提出しています。ボランティアや実習生も、マニュアルに沿って説明し、誓約書を提出しています。
- ・個人情報に関する記録は、事務所の施錠できる棚に保管、管理しています
- ・職員は、遊び、持ち物などに男女の固定観念を持ち込まないように留意し、遊びや行事では、職員が子どものやりたいものを聞き、自ら選ぶ気持ちを大切にしています。職員会議で、性差による役割分業や言葉づかいなどについて固定観念を持たないように話し合い、保育の中で性差による区別をしないように意識しています。

2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・保育課程は理念・園目標に沿って作成し指導計画の作成にあたっては、正職員に派遣職員も加わり、絶えず保育課程に立ち戻って立案・見直しをするようにしています。
- ・1, 2歳児ではブロックや絵本は子どもが自由に取り出して遊べるように手の届く高さの棚に置かれています。0歳ではボールなどは自分で取り出して遊べますが、安全性を配慮し職員が子どもたちの様子に合わせておもちゃなどを選択し提供しています。
- ・朝・夕の自由遊びの時間では保育室をパーテーションや低い棚で部屋を区切り、動きのある遊びのスペースと静かに遊ぶスペースに分け、子どもが落ち着いて遊び込めるように工夫しています。
- ・登園後9時までとおやつ後は自由遊びの時間となっており、子どもが好きなことをして遊べる時間が確保されています。また、遊びに熱中している時は柔軟に時間を変更できるデイリープログラムとなっています。
- ・散歩の際に交通ルールを説明したり、追いかけてごっこやかくれんぼなどルールのある遊びを取り入れ、遊びの中で社会性を自然に身につけられるよう工夫しています。
- ・子ども一人ひとりが興味や関心を持って遊べるように、職員はそれぞれの子どもの気を配り、言葉をかけて遊びの援助を行っています。
- ・ピーマンやスプラウトを植え、水やりや観察をし、カブトムシを飼育しています。また、昆虫図鑑を保育室に備え動植物に興味や関心を深めるようにしています。
- ・散歩で、地域の子どもたちと交流したり他園の子どもと一緒に遊んだり、近所の人たちに積極的に挨拶をするようにしています。
- ・廊下にお散歩マップを掲示し、雨天以外はほとんど毎日近隣の公園に出かけて、自然に触れる機会を積極的に取り入れています。
- ・子どもの発達過程に応じて散歩のコースを変えたり、公園の特徴をふまえて散歩の行き先を選択するなど、運動能力の増進に配慮しています。1, 2

	歳児は週に1度、体操教室、リトミック教室を行い、年齢や発達に応じた専門家によるカリキュラムが組まれ、子どもたちは運動能力を高めています。 ・喘息やアレルギーなど子どもの既往症には保護者と連絡をこまめに取り、担当医の指示に従って対応しています。体調の悪い子どもは部屋で静かに遊ばせるなど、健康状態に合わせて対応しています。 ・職員は残さず食べることを強制せず、一人一人の食べる量を把握して少食や好き嫌いのある子に対しては、盛り付けの時に量を減らしたり、少しでも食べられたら褒めるようにし完食できるように配慮しています。 ・乳児の授乳にあたっては、登園時に保護者に授乳した時間を確認し、子どもの様子を見ながら次の授乳時間を決めています。授乳の時は必ず抱っこして声掛けしています。 ・口の中に食べ物が残っていて飲込めないときは職員が「かみかみゴックン」などとやさしく声をかけ、食事はせかすことなく、一人ひとりのペースを尊重しています。 ・2歳児から月に一回、味噌作りや手作りうどんなど「クッキング保育」を取り入れ、子ども達は調理に参加して、食への関心を高めています。また、1歳児から給食のワゴンを調理室に取に行ったり、2歳児はテーブル拭きや食器の片づけを行うなど食事の過程にも関心が持てるようにしています。 ・年に1回給食試食会を実施し、食材の安全性や化学調味料を使わない味付けや食材の切り方など園で工夫していることを保護者に伝えています。今年は6月に行い、0歳児2名、1歳児13名、2歳児20名の参加がありました。 ・トイレトレーニングは、歩行が安定したら、オムツ交換時トイレに座ってトイレで排泄できたら褒めて排泄の感覚を自覚できるように配慮しています。一人一人に合ったペースで進め、保護者と連携をとりながら個別に対応しています。
3.サービスマネジメントシステムの確立	・保育課程を基にクラス担任が中心になって子どもの発達や状況に応じて年間指導計画を作成し、年間指導計画を基に月案と個人指導計画を作成し、職員会議で評価見直しを行っています。 ・入園後の発達状況を0、1歳児は毎月、2歳児は2か月ごとに記録し児童票に保管しています。 ・アレルギー疾患のある子どもについては、医師の意見書を基に栄養士による保護者面談を実施して除去食、代替え食を提供しています ・子どもの体調は保護者から連絡帳や口頭で確認し、朝の視診で健康状態を把握し、昼礼にて職員間で情報共有しています。 ・最新感染症発生状況は、大和市保健福祉センターからFAXなどで提供され、設置法人からの情報と併せて職員には昼礼などで伝え、全員で情報を共有しています。感染症が発生したときは、速やかに事務所前と保育室に感染症名と人数を掲示して保護者へ伝えています。事務所前には感染症の対処法や症状も掲示しています ・事故やケガについてはアクシデントレポートに記録され、職員会議、昼礼などで報告され、再発を防ぐ方法等の改善策を検討し実行し、事故に繋がらなかった事項でもヒヤリハット記入票に記録し、昼礼などで報告され改善策等を周知できるようになっています。
4.地域との交流・連携	・一時保育を毎日受け入れ、近隣のやまと公園で年3回地域親子にパネルシアター、絵本の読み聞かせ、シャボン玉あそびなどを提供する『ぽかぽかひろば』を開催しています。 ・大和市の子育て応援フェスタでの子育て相談に参加したり、毎月第三木曜

	日には子育て相談を受けています。 ・関係機関との連携の担当者は園長と決め、大和市の園長会議などに参加し、職員会議で報告しています。大和市福祉保健センター、児童相談所などと連携できる体制があります。 ・園の行事の夏祭りに一時保育利用者、第三者委員、同じ建物のスーパーの店長などを招待し、8名の参加を得ました。 ・0～2歳までの園のため、行事はいつもと同じ空間で保護者と職員が家庭的な雰囲気作りを心掛け、その中で行うようにしているために、あえて計画的に他の団体と行うようなことはしていません。 ・園はホームページへの情報掲載や大型商業施設からの要請で地元の『やまと子育て応援フェスタ』などに園紹介のパネルを出店し、情報提供に努めています。 ・問い合わせは常時受け付け、・見学ができることはホームページで紹介し、希望日・時間に関しては可能な限り対応し、年齢に応じて園でのわかりやすい時間帯を伝え案内しています。
5.運営上の透明性の確保と継続性	・園はホームページへの情報掲載や大型商業施設からの要請で地元の『やまと子育て応援フェスタ』などに園紹介のパネルを出店し、情報提供に努めています。 ・第三者評価における自己評価結果の気付きから抽出された課題（地域との交流など）は中期計画に盛り込み対応を検討しています。 ・設置法人のホームページに園の経営・運営状況を公開しています。 ・職員の入れ替えなどの報告は3月末の全体保護者会で行い、またその都度園長より丁寧に説明し、玄関に掲示し報告しています。 ・エリアマネージャ、設置法人企画担当者、発達支援スタッフ等外部スタッフを加え、園長・栄養士を交えて問題解決に取り組む体制ができています。 ・園長は大和市の園長会議や設置法人の園長会議などで情報収集に努め、職員会議で議論の上、重点課題は中期計画の運営改革目標として取り上げています。
6. 職員の資質向上の促進	・職員は個人別年間研修計画の中で成長目標と研修目標を設定し、園長との期首面談や年末面談等にて達成度の反省・評価を経て来年度のスキルアップ計画に結びつけています。 ・設置法人が階層別と自由選択の年間研修計画を作成し、職員は本人希望、園長による受講奨励などで受講しています。大和市などで開催される園外研修は事務所に掲示し希望者は受講していますが、受講できなかった職員については、報告書・資料の回覧により知識の共有を図っています。 ・園長は非常勤職員に対しても、個々が必要とするところを学習し向上していけるよう園内研修に参加させたり、学びたいと思っている内容を聞き園内研修に取り上げたりし資質向上への取り組みを行っています。 ・職員には5段階評価の自己査定票が用意され年3回実施しています。個別指導計画や月案、週案に振り返りの欄を設け、保育の各項目の目標に関し子ども一人一人の特性に合わせて実施後の反省・評価を行い、次月案を作成しています。職員は計画作成や記録を通して改善課題を自覚し保育を実践しています。

施設名:アスク大和保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

評価機関による評価(案)



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅰ－１ 保育方針の共通理解と保育課程等の作成 	・設置法人の理念を「・セーフティ&セキュリティを第一に・お子様にとっていつまでも思い出に残る保育を・利用者のニーズに合った保育サービスを提供・職員が楽しく働けること」とし、基本方針を「子どもの自ら伸びようとする力・後のびする力」を育てる保育を・五感で感じる保育の充実を目指す」とし、保育目標を開設時に全職員で『すくすく元気にみんな仲良し』と決めて、利用者本人を尊重したものになっています。 ・職員は理念と基本方針について入社時に代表研修を受け、職員会議で確認しています。 ・保育課程や指導計画は理念・基本方針・園目標に沿い、待機児童の多い地域事情や地域の保護者の実情等も考慮しながら作成しています。 ・保育課程は、3月に職員全員で見直し次年度のものを作成し園内に掲示すると共に職員にも配布しています。 ・指導計画の作成にあたっては、正社員に派遣社員も加わり、絶えず保育課程に立ち戻って立案・見直しをするようにしています。
Ⅰ－２ 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	・入園前に保護者面接を行い、子どもも一緒に来園してもらい複数の職員が観察し、面接シートに記録しています。 ・保護者から成育歴や家庭の状況を記入した入園時児童家庭調査票を提出してもらい、集団保育経験の有無、アレルギー、ならし保育の希望、子どものくせなどを保護者から聞き取ったものを入園前面談シートに記入し、児童票と一緒に個人ファイルに保管し、職員で共有し、保育に活かしています。 ・ならし保育は保護者に必要性を説明した上で保護者の就労条件や子どもの様子に合わせ、相談しながら行っています。 ・できるだけ同じ職員が同じ子どもにあたるように配慮しながら保育にあたっています。 ・個別の連絡ノートでその日の子どもの様子などを細かく記載して保護者と情報を交換しています。 ・入園受け入れ時の際は、担任職員のうち一人は持ち上がりにし、在園児が不安なく過ごせるように配慮しています。 ・保育課程を基に年間指導計画を作成し、年間指導計画を基に月案と個人指導計画を作成しています。 ・クラス担任が中心になって子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成し、職員会議で評価見直しをしています。 ・指導計画には目標を設定し、評価反省の欄を設けて評価見直しをしています。 ・保護者の意向は毎日の送迎時に、個人面談時に把握し月案、個人月案指導計画に反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・毎日の清掃はマニュアルに基づいて行い、感染症などの流行時には部屋の壁・ロッカーの裏側・パーテーションなど細部に亘って消毒・清掃をしています。
- ・保育室には24時間換気装置、空気清浄機を備え、消臭効果のある壁材を使用して環境に配慮し、温・湿度計・濡れタオルなどを用いて管理を行っています。
- ・窓のない1歳児保育室は、時折2歳児保育室との境のパーテーションを取り外し陽光を取り入れています。
- ・テーブルを並べたりカーペットを敷いたり、背の低い収納棚でコーナーを作り、子どもの小集団活動を支援しています。
- ・一日の保育生活の流れを明確にするため午睡スペースと食事のスペースは完全に分離しています。
- ・沐浴・温水シャワーは各クラスに隣接して設置されており、衛生管理マニュアルに沿って管理し、使用するたびに清掃消毒しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・全園児の個別指導計画を作成し、特別の配慮が必要な子どもには年間指導計画も個別に作成しています。
- ・保護者とは離乳食の進め方やトイレトレーニング、箸の使用など家庭での様子を聞き、保護者の承認を得ながら指導計画の見直しを行っています。
- ・入園時家庭調査票、面談シートや入園後の健康の記録など個々の状況を定められた書式に記録しています。
- ・入園後の発達状況は、0～1歳児は毎月、2歳児は2か月ごとに記録し児童票に保管しています。
- ・これらの書類は事務室に施錠保管し、職員は必要な時はいつでも見ることができるようになっています。
- ・進級時の申し送りは児童票をベースに、年度末に行っています。

I-5 保育上、特に配慮を要する 子どもへの取り組み



・入園時家庭調査票、面談シートや入園後の健康の記録など個々の状況を、定められた書式に記録し、入園後の発達状況は、0～1歳児は毎月、2歳児は2か月ごとに記録し児童票に保管しています。

・進級時の申し送りは児童票をベースに、年度末に行っています。

・配慮が必要な子どもについて職員会議や毎日の昼礼で報告・話し合いをし、情報共有して全ての職員が同一の対応が取れるようにしています。

・年3回大和市の臨床心理士と作業療法士の巡回指導があり、職員は一緒に保育を実践し、事後の検討会で最新の技術を学んでいます。記録された報告書は全職員に回覧、保管し、情報を共有しています。

・配慮を要する子どもについては個別年間指導計画を立て、昼礼・職員会議で対応を検討し話し合っています。

・障がいの有する子どもと他の子どもは同じ環境で過ごし、落ち着いて過ごせるような配慮が必要な際には個別に対応しています。

・虐待の定義、予兆の発見手法につて虐待対応マニュアルがあり、職員は設置法人の研修を受講し、園内研修でも話し合って周知しています。

・虐待が明白になった場合、疑わしい場合は法人マニュアルに沿って、設置法人本部、大和市保育家庭課、神奈川県中央児童相談所に連絡し、相談ができる体制ができています。玄関ホールに事務室があり、園長は出入りする保護者にこまめに声を掛け対応しています。

・アレルギー疾患のある子どもについては、半年に一度医師の指示書を提出してもらい、栄養士による保護者面談を実施して適切に対応しています。

・「食物アレルギー食対応マニュアル」があり、園内研修を行い職員は周知しています。

・アレルギー疾患を有する子ども専用のテーブル・トレイを用意し、食器にラップをかけ黒のマジックで子どもの名前・除去食・代替え食の内容を書いて誤食防止をしています。また一日ごとにアレルギー食一覧表を作成し、複数職員が確認しており、調理室から出されるアレルギー対応食を乗せたトレイにはアレルギー疾患を有する子ども一人一人の専用リストを添付しています。

外国籍の子どもについては、担当職員は保護者との面談で、食事（離乳食など）への考え方や名前の呼び方や言語について要望や意向を確認し、可能な場合は対応しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
I－6 苦情解決体制 	・苦情受付担当者を主任、解決責任者は園長として入園説明会で苦情窓口を伝え、苦情処理のしくみを説明しています。 ・第三者委員2名の連絡先を入園のしおり、園玄関に掲示し意見を述べやすくしています。意見箱を玄関に設置しています。行事の後にアンケートを実施して保護者から意見や要望を聞き、集計結果を掲示しています。 ・園に直接意見を述べにくい保護者に対しては設置法人の相談窓口、大和市や外部の権利擁護機関などを掲示しています。 ・設置法人に苦情対応マニュアルがあり、苦情受け受けたときには園長、エリアマネージャー・企画開発担当者と連携を取りながら対処しています。 ・要望や苦情はクレーム受理票に記録し、苦情内容や対処方法、結果について全職員に周知し、保育に活かしています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－1 保育内容[遊び] 	・全ての保育室の床材はクッションフロアを使用し、0歳児保育室の棚はつかまり立ちや伝え歩きが出来るようにしています。1歳～2歳児室では、ブロックや絵本を子どもが自由に取っ出して遊べるように手の届く高さの棚に置かれています。0歳児室ではボールなどを自分で取り出して遊べますが、安全性を配慮し職員が子どもたちの様子に合わせておもちゃなどを選択し提供しています。 ・自由遊びの時間では、マットのスペースでブロック遊びをしたり、机上でひも通しで遊ぶなどそれぞれの子どもが遊びに集中できるように配慮しています。ままごと用にエプロン、人形、おんぶひもを用意するなど、遊びを豊かにするものを用意しています。職員は子ども一人ひとりが興味や関心を持って遊べるように、それぞれの子どもに気を配り、言葉をかけて遊びの援助をしています。 ・ピーマンやスプラウトを植え、水やりなどをして観察したり、カブトムシを飼育しています。廊下にお散歩マップを掲示し、ほとんど毎日近隣の公園に出かけ、散歩では、地域の子どもたちと交流したり、近所の人たちに積極的に挨拶をするようにしています。 ・自由遊びの時間や雨天時には1、2歳の保育室に巧技台を設置し、ボール遊びや新聞紙遊びのコーナーをつくり、自分の好きなコーナーで自由に遊び、異年齢の子どもが関わりを持てるように工夫しています。 ・積極的に戸外活動を取り入れ、子どもの発達段階に応じて散歩のコースを変えたり、公園の特徴をふまえて散歩の行き先を選択するなど、運動能力の増進に配慮しています。又、1～2歳児は週に1度、体操教室、リトミック教室を行い、年齢や発達に応じたカリキュラムが組まれ、講師の指導で子どもたちは運動能力を高めています。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- ・食事を豊かに楽しむために、職員は残さず食べることを強制せず、一人一人の食べる量を把握して少食や好き嫌いのある子に対しては、盛り付けのときに量を減らしたり、少しでも食べられたら褒めるようにし完食できるように配慮しています。乳児の授乳にあたっては、登園時に保護者に授乳した時間を確認し、子どもの様子を見ながら次の授乳時間を決めています。授乳の時は必ず抱っこして声を掛けています。

- ・お米は提携農家から低農薬米を取り寄せ、食材はすべて放射能検査を行い、決まった業者から毎日届けられるなど食材の安全性に配慮しています。食器には強化磁器を使用しています。箸は木製、0歳児用スプーン、コップはプラスチックを使用し、洗浄後確認し破損があった場合は随時入れ替えをしています。

- ・毎月行事に合わせて「節分ランチ」など季節感のある献立や楽しい盛り付けの食事を提供しています。また、1～2歳児と一緒に食事をしたり、2歳児がクッキングで作ったおにぎりを弁当箱に詰めて公園に行き食事するなど食事の雰囲気づくりを工夫しています。

- ・職員は子どもの食べる量を把握して、一人一人の嗜好にあわせて野菜の量や盛り付けを工夫しています。1か月に一度、園長・主任・調理担当者・クラス給食担当職員が参加する給食会議で状況を報告し合って、調理法や味付け、調理方法などを検討し、反映させています。うどんなど麺類の長さを年齢によって短く変更した例があります。

- ・離乳食、幼児食の献立表や、食の情報を掲載した「給食だより」を毎月発行しています。また、保護者が自由に持ち帰ることのできる人気メニューのレシピを備えるなど、保護者が園での食事への関心が持てるように配慮されています。

- ・年に1回給食試食会を実施し、食材の安全性や化学調味料を使わない味付けや食材の切り方など園で工夫していることを保護者に伝えています。

- ・午睡については、眠れない子どもや眠くない子どもには午睡を強制せずに休息が大切であることを大事にし、職員が側について横になり見守っています。乳幼児突然死症候群（SIDS）を防ぐため、0歳児には5分おきに1歳児は10分おきに呼吸チェックを体に触れて行い、「生活・睡眠記録簿」に記録しています。

- ・排泄については一人一人の排泄リズムを把握し、個人差を尊重し、無理に誘うのではなくできるだけ遊びが中断しないように配慮しています。トイレトレーニングは、歩行が安定したら、オムツ交換時にトイレに座って排泄できたら褒めて排泄の感覚を自覚できるように配慮し、一人一人に合ったペースで進めています。保護者にその日の状況を細かく伝え、家庭の状況も聞いて保護者と連携をとりながら個別に対応しています。

＜工夫している事項＞

- ・2歳児から月に一回、味噌作りや手作りうどんなど「クッキング保育」を取り入れ、子ども達は調理に参加して、食への関心を高めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



・「健康マニュアル」に基づいて、子ども一人一人の健康状態を把握し、既往歴・予防接種状況などを健康台帳に記載し個人ファイルに保管しています。その後の変更があれば、保護者に申告してもらい随時更新しています。特に体操教室で鉄棒を行う際は、脱臼などの既往症がないか再度確認しています。

・食後の歯磨き指導は、0歳児は毎食後にお茶を飲み、1歳児から食後にうがいをし、2歳児から毎食後、歯ブラシを使用し歯磨き指導を行っています。

・年2回の健康診断を行い、子ども一人一人の健康診断・歯科検診の結果は「健康記録調査票」に記載されています。健康診断の結果・歯科健診の結果は、書面と口頭で保護者に伝えています。毎月行う身体測定の結果については、連絡ノートに記載し、保護者に報告しています。

・感染症対応マニュアルがあり、入園のご案内に「感染症に関するお知らせ」を記載し、入園説明会・年度初めの保護者会で、感染症の登園停止基準や保育中の発生時の対応などについて保護者に説明しています。保育中に感染症が疑われた時は、マニュアルに従って速やかに保護者に連絡して、医師の受診を勧めています。保護者がすぐに迎えに来られない事情がある場合は、事務所で子どもを休ませるなどの対応をしています。保育中に嘔吐などがあった場合は、子どもたちをすみやかに移動させ、清掃・消毒・換気を行っています。嘔吐処理セットは各クラスとトイレに準備しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



施設・設備・玩具などの清掃消毒方法が明記された衛生管理マニュアルが整備されており、職員が入職時に研修を受けています。改定時は職員会議で説明され、全職員に周知しています。

<コメント・提言>

・日々の清掃は、マニュアルに沿って行い、担当した職員が「保育室清掃記録表」に実施状況を記録することになっていますが、空気清浄器・エアコンのフィルターなど項目によって記録がない部分があります。清掃を行った際は確実に記録されることを望みます。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[安全管理]



・安全管理に関するマニュアルがあり、地震を想定し、棚などは固定し、転倒防止策を講じています。棚の上にラジカセなどを置く場合は、滑り止めシートを使用しています。月に一度設置法人の担当職員が園の安全点検や消防訓練等の実施状況の点検を行っています。子ども達は保育室に防災ずきん、1～2歳児については廊下に避難靴を準備しています。年間避難訓練計画書を作成し、毎月地震・火災を想定して、「119番通報訓練」「避難訓練」などを実施しています。

・園にAEDが設置され、全職員がAEDの研修を受けています。職員12名が、赤十字幼児安全法支援員養成講座を受講し、救急救命資格を取得しています。

・地域内行政機関、救急機関などのリストを事務所内に掲示しています。保護者への連絡は、緊急連絡引渡票で行い、園携帯電話にメールの登録をした保護者に情報を流すシステムもあります。

・小さなケガでも園長に報告して保育日誌に記録し、保護者に連絡ノートや口頭で必ず報告しています。事故やケガについてはアクシデントレポートとして記録され、職員会議、昼礼などで報告され、原因を探って再発を防ぐ方法等の改善策を検討し実行しています。また、事故につながらなかった事項でも必要に応じてヒヤリハット記入票に記録し、昼礼などで報告され、改善策等を周知できるようになっています。

・「不審者対応マニュアル」があり、玄関は電子錠になっていて、来園者の顔を確認してから解錠し、不審者の侵入を防止しています。警備会社と契約し、防犯カメラ・通報ベルが設置され緊急通報体制を確立しています。職員間で合言葉を決め、不審者の侵入に備えています。散歩の時も携帯電話と緊急通報装置を携帯しています。不審者対応の訓練を行っています。

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－３ 人権の尊重 	・業務マニュアルに、子どもとの話し方・接し方の規定があり、全職員が読み込んでいます。保育中に子どもに対する言葉づかいが威圧的であると気づいたときは、その場で園長が注意したり、会議や昼礼で事例を提示し話合っています。園長は『こどもの声を聞く』保育を職員に指導しており、子どもの要求や訴えに耳を傾け、気持ちをくみ取る保育を行っていくように促し、子どもの人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育を行わないことについて、全職員が認識しています。 ・個人情報の取り扱いや守秘義務について全職員が研修を受けて周知し、誓約書を提出しています。職員会議においても、個人情報の取り扱いについて確認しています。ボランティアや実習生には、マニュアルに沿って説明し、誓約書を提出してもらっています。個人情報に関する記録は、事務所の施錠できる棚に保管、管理しています。 ・保護者には、個人情報の取り扱いについて入園時に説明し、ホームページへの子どもの写真については、入園時、進級時に書面で承諾を取っています。保護者が行事で撮影した写真の取扱いについても、行事の案内に記載し、注意を促しています。 ・遊び、持ち物などに男女の固定観念を持ち込まないように留意し、性別による区別はしていません。遊びや行事では、職員が子どものやりたいものを聞き、自ら選ぶ気持ちを大切にし、性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しています。
Ⅱ－４ 保護者との交流・連携 	・保護者が保育の基本方針を理解できるよう、運営理念・基本方針は、入園説明会や年度初めのクラス懇談会で保護者に説明しています。園の行事は保育方針に沿って行っており、目的を分かりやすく伝え、行事の後には、アンケートを実施し、行事の内容等と共に、要望・意見を聞き、結果について掲示しています。保護者の意見を聞くための「意見箱」を事務所に設置しています。 ・個々の保護者との日常的な情報交換は、登園時に職員が必ず子どもの家庭での様子を聞き、その日の様子は個人連絡ノートに記載し、降園時に保護者へ口頭でも伝えていきます。 ・個別面談を年2回行い、開催日は保護者の都合に配慮して決めています。個別面談の希望があればいつでも対応しています。 ・保護者会とクラス懇談会を年に2回実施し、子どもたちの様子を伝えています。多くの保護者の参加できるように土曜日に設定しています。その後、すべての保護者に、配布資料や議題についてまとめた文書を渡しています。 ・保護者の相談はいつでも受けられる体制になっていて、相談内容は個人ファイルの「育児相談記録」に記録され、必要に応じて職員会議で対応策を検討し、継続的なフォローを行っています。相談は事務所などで行い、相談中はドアに「面談中」のプレートを掲げて、プライバシーを保護し、相談が中断しないように配慮しています。 ・「園だより」「クラスだより」「保健だより」「給食だより」を毎月発行し子どもの活動の様子を伝えています。「クラスだより」には日常の様子を写真を載せ、日常の保育やクッキング保育の様子を写真に園内に掲示し、ホームページは随時更新して日常保育の様子を伝えています。 ・年度初めに年間行事予定表を配付し、「園だより」でその月の行事を再度記載して、保護者が参加できやすいように配慮しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	・地域の子育て支援ニーズについて職員会議で話し合っています。 ・一時保育を毎日受け入れ、また、近隣のやまと公園で年3回地域親子に保育プログラムを提供する『ぼかぼかひろば』を開催しています。そのほかに年4回、土曜日に5組の地域親子を園の行事に招待する『わくわくひろば』を計画していますが、参加者が集まらず実施には至っていません。 ・大和市の子育て応援フェスタの子育て相談に参加しています。園では毎月第三木曜日に子育て相談を受けています。これまでに1件の相談を受けた実績があります。 ＜コメント・提言＞ ・地域の方を園の行事に招待する「わくわくひろば」の参加者が集まらないということですが、地域のコミュニティセンターや子育てサロンへの情報提供を行うなど園からの情報発信を望みます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

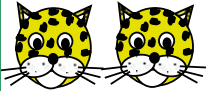
評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	・園の行事の夏祭りに一時保育利用者、第三者委員、同じ建物のスーパーの店長などを招待し、8名の参加を得ました。 ・0から2歳までの園であるため、行事はいつもと同じ空間で保護者と職員が家庭的な雰囲気作りを心掛け、あえて計画的に他の団体と行うようなことはしていません。 ・近隣のやまと公園で年3回地域親子にパネルシアター、絵本の読み聞かせ、シャボン玉あそびなどを提供する『ぼかぼかひろば』を開催し、年4回土曜日に5組の地域親子を園の行事に招待する『わくわくひろば』を企画するなどの取り組みを行っています。 ・やまと公園や神社を散歩で利用したり、草柳保育園の園庭開放や人形劇に参加しています。やまと公園の移動動物園などの案内のチラシを配って参加できるようにしています。
Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供 	・設置法人のホームページや「入園のご案内」に、サービスの内容、職員体制などを掲載しています。 ・大型商業施設からの要請で地元の『やまと子育て応援フェスタ』に園紹介のパネルを出展し、また、園のパンフレットと子育て支援案内を大和市の子育て支援センター・大和市保健福祉センターに置き情報提供に努めています。 ・利用希望者の問い合わせは常時受け付け、受けた際に園長・主任が園のパンフレットを基に園の基本方針や利用条件・サービス内容を詳細に説明しています。 ・見学ができることをホームページで紹介し、希望日・時間に関しては可能な限り対応し、年齢に応じて園でのわかりやすい時間帯を伝え案内しています。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
V-1 職員の人材育成 	・人材に不足が予想される場合や不足が生じた場合は、設置法人企画開発部に要請して人材補充を行っています。 ・職員は個人別年間研修計画の中で成長目標と研修目標を設定し、園長との期首面談や期末面談等にて達成度の反省・評価を行い、来年度のスキルアップ計画に結びつけています。 ・設置法人が階層別と自由選択の年間研修計画を作成し、職員は本人希望、園長による受講奨励などにより受講しています。 ・大和市などで開催される園外研修は事務所に掲示し希望者は受講しています。 ・職員は受講後、研修レポートを必ず提出し、資料はほかの職員が自由に見て学べるように一定期間ファイルし、昼礼で研修報告を行い、新しい知識を共有しています。 ・園長は非常勤職員に対しても、個々が必要とすることを学習し向上していけるよう園内研修に参加させたり、学びたいと思っている内容を聞き園内研修に取り上げたりし、資質向上に取り組んでいます。

評価分類	評価の理由（コメント）
V-2 職員の技術の向上 	・職員は年2回自己評価シートで振り返りを行っています。毎年、第三者評価を受審しており、その際に園としての自己評価を行い、受審結果は公表されています。 ・設置法人の園長会議で得た工夫・改善事例を持ち帰り職員会議で話し合いサービス向上に取り組んでいます。 ・大和市から年3回派遣される発達支援専門員「臨床心理士」の巡回指導を受けています。 ・職員には5段階評価の自己査定票が用意され年3回自己査定を行い、園長面談を行って保育上の改善課題を自覚し実践に反映しています。 ・個別指導計画や月案、週案に振り返りの欄を設け、保育実施後に各項目の目標に関し子ども一人一人の特性に合わせて反省・評価を行い、次月案を作成しています。 ・職員は保育実践の振り返りや園の自己評価票などから浮かび上がる課題をクラス会議で話し合っています。 ・第三者評価における自己評価結果の気付きから抽出された課題（地域との交流）を中期計画に盛り込み、対応を検討しています。
V-3 職員のモチベーションの維持 	・設置法人作成の「保育士に求められる役割と能力」に職制と経験別の期待水準を明文化しています。 ・園長は最終責任は自分が負うが、可能な限り職員が主体的、自主的、自発的に判断して保育にあたるように権限委譲しています。 ・園長は職員が意見を出しやすいように雰囲気作りに注力し、職員から出た意見を職員会議や昼礼で検討し取り入れています。 ・設置法人にはエリアマネージャーによる面接システムがあり、また年3回の園長・職員面談で職員からの意見要望を把握しています。

評価領域Ⅵ 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅵ－１ 経営における社会的責任 	・職員が守るべき法・規範・倫理等は業務マニュアルや就業規則で明文化されており、全職員に入社時研修により周知しています。設置法人にコンプライアンス委員会があり、不正は直接通報できる仕組みがあり、職員は連絡先を周知しています。 ・設置法人のホームページに園の経営・運営状況を公開しています。 ・民間の事業ごみ収集業者と契約し、リサイクル用分別袋を使用して分別を行い、回収を受けています。 ・設置法人による節電啓発ポスターを園玄関に貼りだし、待機電力の節電などをチェックシートを基に行っています。 ・牛乳パックを使っておもちゃを作る、節電を心掛けるなど環境に配慮しています。 ・設置法人の園長会議や大和市の園長会で報告された他園での問題事例を園に持ち帰り、職員会議や昼礼・園内研修などで取り上げ話し合い、防止に努めています。
Ⅵ－２ 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 	・設置法人の理念・基本方針と園独自に作り上げた目標「すくすく元気にみんな仲良し」を園玄関に張り出し、入社時や採用時に研修を行い職員は周知しています。 ・理念・基本方針を職員会議・昼礼などで機会あるごとに園長・主任が実際の保育と結び付けて説明しています。 ・職員の入れ替えなどについてはその都度園長より保護者に丁寧に説明し、3月末の全体保護者会で報告を行い、玄関に掲示しています。 ・1,2歳児各クラスから保護者1名を選出する評議委員会を設け、話し合える仕組みを作っています。 ・夏祭りなどの園行事を行う場合、園全体で取り組んでいます。 異なる部門からエリアマネージャ、設置法人企画担当者、発達支援スタッフ等外部スタッフを加え、園長・栄養士を交えて問題解決に取り組む体制ができています。 ・主任は個々の業務状況把握に努め、シフト作成や日々の保育配置に配慮しています。 ・主任は個々の職員の能力や状況を把握し、昼礼や保育の中で具体的な助言や指導を行い、個々の事情を把握して精神・健康状態に気を配っています。
Ⅵ－３ 効率的な運営 	・園長は大和市の園長会議や設置法人の園長会議などで情報収集に努め、職員会議で議論の上、重点課題は中期計画の運営改善目標として取り上げています。長期計画目標は「・子どもが自ら生きる力を培う保育 ・親が子育ての意欲を高めることにつながる保育 ・健全な子育てを支える地域との連絡」をあげ、H25年度は「一人一人の子どもを大切にする保育・保育者の声を大事にする ・地域との交流を図る」を挙げています。 ・設置法人は、将来を見据えた新たな運営やサービスプロセスについて常に検討しています。 ・設置法人は運営について業界関連機関や専門家などから意見を収集し、運営に活かしています。

利用者家族アンケート

施設名:アスク大和保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数60名、全保護者60家族を対象とし、回答は50家族からあり、回収率は81%だった。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収した。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は96%（満足74%、どちらかといえば満足22%）であり、否定的な回答は2%（どちらかといえば不満2%、不満0%）あった。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 入園するときの状況について、6項目の設問を合わせると肯定的な回答（「満足」「どちらかといえば満足」（以下同様））が92%であった。
- 2) 園の年間の計画については2項目の設問を合わせると肯定的な回答が96%であった。
- 3) 遊びについては、6項目の設問を合わせると肯定的な回答が93%であった。
- 4) 生活については、7項目の設問を合わせると肯定的な回答が90%であった。
- 5) 園の快適さや安全対策などについては、4項目の設問を合わせると肯定的な回答が88%であった。
- 6) 職員の対応については、5項目の設問全体で肯定的な回答は88%であった。「あなたのお子さんは大切にされているか」「園生活を楽しんでいるか」の設問に対し、肯定的回答がいずれも98%であり、園への信頼が高い。
- 7) 園と保護者との関係については、7項目の設問全体で肯定的な回答は92%と高い評価を得ている。ただし、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」については否定的な回答（「どちらかといえば不満」「不満」）は10%であり、保護者に対する情報提供の方法について更なる改善余地がある。

◇ 比較的満足度の低い項目

園庭がないので施設設備について否定的回答が30%（どちらかといえば26%。不満4%）ありますが、現在努力されているように、散歩や公園での遊びなどの機会を多くすることを今後も継続することを期待します。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	8%	72%	12%	6%	2%	

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	78%	20%	0%	0%	0%	2%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	72%	10%	2%	0%	16%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	62%	32%	0%	2%	4%	0%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	54%	40%	4%	0%	2%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	76%	22%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	62%	30%	4%	2%	2%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	64%	32%	2%	0%	2%	0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	56%	42%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	44%	50%	2%	0%	4%	0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	76%	20%	2%	0%	2%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	50%	42%	0%	0%	8%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	80%	10%	6%	0%	4%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	68%	24%	4%	0%	4%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	76%	16%	2%	2%	4%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	74%	20%	0%	2%	4%	0%
	その他:					

生活について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	92%	8%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	84%	14%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	60%	20%	10%	0%	10%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	76%	18%	2%	0%	4%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	38%	26%	6%	2%	26%	2%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	70%	26%	2%	0%	2%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	70%	26%	2%	0%	2%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	26%	36%	26%	4%	8%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	58%	40%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	76%	20%	2%	2%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	62%	32%	4%	0%	2%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	56%	40%	2%	2%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	56%	40%	2%	2%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	64%	24%	8%	2%	2%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	64%	24%	8%	2%	2%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	66%	26%	6%	2%	0%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	64%	24%	6%	2%	4%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	76%	18%	0%	2%	4%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	76%	22%	0%	0%	2%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	82%	16%	0%	0%	2%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	64%	18%	0%	0%	16%	2%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	50%	34%	10%	2%	4%	0%
意見や要望への対応については	46%	30%	6%	4%	14%	0%

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
総合満足度は	74%	22%	2%	0%	2%

観察方式による利用者本人調査

アスク大和保育園

◇0歳児

食事

4人ずつ4つのテーブルに分かれて、各テーブルに職員が1名ずつついています。子どもたちはスプーンを使って食べていましたが、上手にすくえない子どもには職員がグラタンをそっとスプーンにのせていました。口に運ぶ前に落としてしまう子どもは上手に口に入ったら「じょうず、もぐもぐ」と声をかけると笑顔になっていました。終わったこどもからデザートゼリーのゼリーをもらい、それぞれの子どもが自分のペースで食べていました。

お昼寝の後

目の覚めた子どもたちは順番にパジャマを着替え、紙おむつを取り替えてもらっています。子どもたちはかごからセットになっているおむつとズボンを自分で取り出し、職員に渡しています。自分でズボンを脱ぐ子もいましたが、職員に手伝ってもらってぬぎ、ズボンをはきやすいようにおいてもらって自分でズボンに足を入れようと頑張っています。少し様子を見ていた職員が手を貸してズボンをはけたら「えらいね。はけたね!」とほめるとうれしそうにしていました。周りでは、洋服に着替えた子どもたちが大きなブロックで遊んだり、消防自動車や救急車を動かしたりと思い思いに遊んでいました。

おやつ

子どもたちはテーブルにつきおやつのケーキを配ってもらっていました。自分のところに配られるのを待ち遠しそうにしています。自分で上手にスプーンを使って食べている子、手づかみで食べている子もいました。すぐに食べ終わるとお代わり”と職員に声をかけていました。離乳食の子どもが一人、前に座った職員から離乳食をスプーンで口に運んでもらっていました。「おいしいね」と声をかけてもらい食べていました。

◇1歳児

散歩

1歳高月の8人の子どもと職員2人が9時半にお散歩に出かけました。玄関を出て廊下の前に一列に並び名前を呼ばれ「階段ではお友達を押しません。」などのお約束を聞いて、引地台公園まで散歩に出かけました。二人ずつ手をつなぎ、「こんにちわ!」と行きかう人と挨拶をしたり、途中のお家に飼われている犬小屋

をのぞいたり、信号のない交差点では手を挙げて渡っていました。引地台公園まで片道 45 分を元気に歩いていきました。

公園では、雪が残った原っぱではサクサクと子どもたちは雪の感触を楽しんで歩き回っていました。雪の中から松ぼっくりを見つけた子どもが職員に見せると、ほかの子どもも松ぼっくりを雪の中から探しはじめ、見つけては職員に渡していました。

雪の中で転んで泣きだしましたが、職員に「大丈夫？頑張って」とはげまされるとすぐに起き上がり、今度は雪の中を用心して歩いていました

室内遊び

ブロック、レールのつないである電車のコーナーが用意され、子どもたちは、好きなコーナーに行き、ブロックで電話を作り職員や調査員と電話をしたり、レールの上を電車を走らせたり、職員のところに絵本を持っていき読んでもらっているなど思い思いに遊んでいました。

食事

子どもたちは 4 人ずつテーブルにつき食べ始めました。スプーンを上手に使って食べている子、手づかみで食べている子がいました。職員におにぎりにしてもらって食べている子もいました。

◇2 歳児

散歩

帽子をかぶり、靴下を履いて保育室から玄関に並んででてきました。自分の靴を出して靴を履き、職員が「右、左をよく見てね」「〇〇ちゃん、上手に履けたね」と声をかけていました。靴を履き、上着を着て準備ができた子どもから通路に出て壁際に並んで座って全員が揃うのを待っています。全員が並んだところで、名前を確認し、手すりをつたいながら 1 階に降りました。道路に出る前に「お友達を超越さない。道の雪は踏まない」と話をして、子どもたちは 2 人ずつ手をつないで歩き始めました。公園に到着し、点呼の後「今日はブランコ、すべり台は使いません。公園の雪は踏んでも大丈夫です」とルールを説明しました。「〇〇先生捕まえて」と声をかけると、子どもたちは走り出しました。十分体が温まったところで、それぞれの子どもが雪を踏んだり、雪山に上ったり好きな遊びをはじめました。職員が「あと 10 数えたら、集まって」と声をかけると、公園の入り口に子どもたちは集まりました。点呼をして、来た時と同じ友達と手を繋いで園に向かって歩き出しました。「バス通るかな」などと話をしながら歩いていきます。園の近くの駐輪場の人から「お帰り」と声をかけられると、元気に「こんにちは」と挨拶していました。

英語教室

講師が「ハロー」と声をかけると子どもたちも大きな声で「ハロー」と挨拶していました。英語の歌に合わせて踊ったり、「ドーナッツ」や「チョコレート」など好きなお菓子のグループに分かれたり、「A B C の歌」では体を使ってアルファベットを楽しく学んでいました。最後に講師から足にスタンプを押してもらい、嬉しそうにお互い見せ合っていました。

給食

名前が書かれたテーブルに座って、「給食の歌」を歌った後、子どもの名前が書かれたプレートに盛り付けして職員が配膳しました。「グラタンとお野菜、スープを全部食べたら、デザートのだんごゼリーがあります」と職員が話すと集中して給食を食べ始めました。野菜が苦手な子どもには「少し食べてみようか」と職員が声をかけていました。職員が「今日はお皿ぴかぴかだね」と声をかけると、笑顔になっていました。

午睡

給食が終わった子どもから職員から歯ブラシを受け取り自分で歯磨きをしたあと、職員に仕上げ磨きをしてもらっていました。そのご、着替えのコーナーに移動し、自分のカゴからパジャマを取り出し着替えを始めました。ボタンが外せない子どもは職員に「外してください」と声をかけ手伝ってもらっていました。着替えが終わった子どもは保育室の入り口に並んで、数人ずつ職員と一緒にトイレに行っていました。トイレから戻った子どもは自分の布団に横になっていました。

誕生会

1歳と2歳のパーティーを開いて広くしました。0歳児は後方のカーペットに座り、1、2歳児は自分の席に着きました。「これからお誕生会をはじめます」と言ったあと全員で「雪」を歌って、大型絵本「ちびゴリラのチビチビ」を読み聞かせしました。子どもたちは集中して聞いています。誕生月の子ども5名が前に出て、王冠をかぶりって椅子に座りました。「〇〇ちゃん、お誕生日おめでとう」と写真付きのお誕生カードを首にかけてもらいました。「大きくなったら、なにになりたいですか」と質問されると「アンパンマンになりたい」など大きな声で答えていました。調理担当職員が手作りした「ドキンちゃんと雪だるま」のケーキが出てきて歓声が上がりました。「ハッピーバースディ」の歌を歌った後、ケーキを切り分けて「ドキンちゃん目があるよ」などと話しながら、おいしそうに食べていました。

平成 25 年度 第三者評価 事業者コメント
アスク大和保育園

【受審の動機】

アスク大和保育園は、開園 3 年目を迎えました。現在の園運営を振り返り、今後の課題を見出すために有効な手段だと考え、毎年第三者評価を受審させて頂いております。開園初年度より、同じ評価機関に評価を依頼し一貫した調査を受けることで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じています。今年度も、保護者のニーズを把握しながら、日々の運営に反映させていくと同時に、職員が自己・自園を見直す良いきっかけになると考え、受審いたしました。

【受審した結果】

今年度は園長になって初めての受審ということもあり、昨年度の振り返りをしつつ、昨年度にご指摘いただいた箇所を見直し、さらに工夫をしながら保育にあたっていました。第三者評価を受審する事で、見えない部分や見逃している部分に気づく事ができました。

今後の課題としては、①保護者とのコミュニケーションをより充実させることにより、園生活を理解して頂けるように努力する。②地域交流、子育て支援では、内容を検討し外へ向けてのアピールを積極的に行っていく。この 2 点を挙げ、見直し、保育に役立たせていきたいと考えています。

最後に今回の受審にあたって、ご利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様、ご尽力頂いた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。

アスク大和保育園
園長 谷森 美香子